



12月・1月 予定表	1
11月例会出席者・10月山行実績	2
山行案内（12月・1月・2月）	3～5
中央公民館ふれあいまつり（四元）	6
山行報告	
・韓国ハイキング（桐生）	7～8
・霧降高原ハイキング（井上勝）	9
・小菅山・高社山（畑中眞）	10
・高社山ハイキング（山口）	11
・要害山（伏見）	12
・乾徳山（2031m）登頂（富永）	13
・御前山（江崎）	14
・大楠山（富田）	15
短歌 小菅山～野沢池～高社山を振り返って（羽鳥）	16～17
思い出の山（羽鳥）	18
ちよつと一言（菅谷・山口）	19～21

## 表紙写真紹介

5月の会山行 赤城山・地藏岳、長七郎山での写真です。赤ん坊との登山シャッターチャンスが難しく、なかなか撮れませんでした。

～～四元一成～～

### 会報部からのお願い <表紙写真>

1月号は三橋和子さん、2月号は石塚洋子さんです。

その際、100字程度の紹介文を添えて、前月20日までに、会報部（清水）へ提出して下さるようお願いいたします。

## 12月・1月予定表

		12月	日	曜日	1月
1	日		1	水	元旦
2	月		2	木	
3	火		3	金	
4	水	山行部会	4	土	
5	木		5	日	アンデルセン公園ウォーキング
6	金		6	月	
7	土		7	火	
8	日	例会 (14:00~16:00)	8	水	山行部会
9	月		9	木	
10	火		10	金	
11	水		11	土	
12	木		12	日	例会 東初富公民館 (1400:~)
13	金		13	月	成人の日
14	土		14	火	
15	日	忘年山行 (鶏頂山)	15	水	運営委員会
16	月		16	木	
17	火		17	金	
18	水	運営委員会	18	土	
19	木		19	日	三浦富士
20	金		20	月	
21	土		21	火	
22	日		22	水	
23	月	編集会議 (10:00~12:00)	23	木	
24	火		24	金	
25	水		25	土	(県連) 房総ハイキング
26	木		26	日	
27	金		27	月	編集会議 (10:00~12:00)
28	土		28	火	
29	日		29	水	
30	月		30	木	
31	火		31	金	

**2025年2月予定**

★2/1 (土) 曾我丘陵ウォーキング<雨天時2/2 (日)

★2/27 (木) 弓立山

**県連**

★1/25 (土) 房総ハイキング

# 例会報告

11月例会出席者

11/10

33名

司会山脇

手塚、松本、鈴木、加藤、桐生、村上、八巻、前田え、村田、間瀬、五十嵐、四元、江崎、石塚、羽鳥、井上勝、山脇、梅田、赤塚、菅谷、蓮見、菅原、清水、畑中真、笹、伊藤、野澤、富田、吉留と、吉留政、西堀、畑中桂、中野

2024年10月山行報告						
月	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
1	宝篋山(ほうきょうさん)	ハ	10/1	個	2	桐生、小林
2	手賀沼遊歩道ウォーキング下見	ウ	10/4	個	4	伊藤、山岡、八巻、村上
3	巻機山(まきはたやま)	沢	10/4~6	個	1	熊谷 (ガイド山行) ガイド+他2名
4	木曾駒ヶ岳(きそこまがたけ)・宝剣岳(ほうけんだけ)	ハ	10/5~6	個	1	岡田 (都岳連マウンテンスクール)
5	筑波山(つくばさん)	ハ	10/6	個	4	江崎、嶋本、清水、菅谷
6	北高尾山稜(きたたかおさんりょう)	ハ	10/6	個	2	蓮見、畑中(真)
7	霞丘陵(かすみきゅうりょう)下見	ハ	10/11	個	6	五十嵐、伏見、桐生、小林、菊池、山口
8	三角山(さんかくやま)・毛無山(けなしやま)	ハ	10/11	個	3	江崎、菅谷、安田 他1名
9	白山(はくさん)	ハ	10/11~13	個	1	四元 他2名
10	宝篋山(ほうきょうさん)	ハ	10/12	個	1	羽鳥 他1名
11	雲取山(くもとりやま)	ハ	10/13~14	個	1	熊谷 他2名
12	日光白根山(にっこうしらねさん)	ハ	10/13~14	個	1	蓮見 他1名
13	大楠山(おおぐすやま)	ハ	10/16	個	4	手塚、松本、前田延、山脇
14	<千葉県連> 韓国ソウル近郊: 北漢山(プッカサン)と冠岳山(クァナクサン)	ハ	10/18~21	県	9	安彦、猪狩、清水、羽鳥、桐生、江崎、石塚、嶋本、井上勝 他7名
15	JWAF筑波山登山寿命を延ばすための講習	他	10/19~20	県	1	間瀬
16	大菩薩嶺(だいぼさつれい)	ハ	10/20	個	1	熊谷 他2名
17	雲取山(くもとりやま)	ハ	10/22~23	個	1	菅谷
18	月山(がっさん)	ハ	10/25~27	個	1	熊谷 他3名
19	加治(かじきゅうりょう)丘陵下見	ハ	10/27	個	5	五十嵐、梅田、伊藤、嶋本、伏見
20	勝浦ウォーキング(関東ふれあいの道/ 千葉県No.18)下見 (県連ハイキング委員会)	ウ	10/28	県	1	羽鳥 他3名
21	霧降高原(きりふり)大山(おおやま)	ハ	10/31	個	5	安田、江崎、井上勝、菅谷
22	小菅山(こすげやま)&高社山(こうしゃさん)	ハ	10/31~11/1	個	6	羽鳥、石塚、山口、畑中(真)、清水、蓮見 他1名
10月の会山行「那須連山縦走・茶臼岳・三本槍岳・朝日岳」「手賀沼遊歩道ウォーキング」は悪天のため中止しました。						
ハ…ハイキング ウ…ウォーキング 沢登り						

# 山行案内

## 12月の山行予定

### <2024 忘年山行>

塩原温泉：鶏頂山&塩原自然歩道 ☆★

日程：2024年12月15日(日)～16日(月) <1泊2日>

幹事：CL 安彦秀夫 TEL：090-5827-0571

SL 安田甚二、嶋本道子、赤塚義政

## 2025年 1月の山行予定

### \*ふなばしアンデルセン公園ウォーキング 全会員対象・(体☆)

新年を迎え今年も元気に過ごせますように！！アイスチューリップが迎えてくれます。

日 時：2025年1月5日(日) 雨天中止(12月31日にメールで連絡します)

日 程 ・ 交通

往 路：新鎌ヶ谷 8：49—8：53 鎌ヶ谷大仏(トイレ) 鎌ヶ谷大仏駅 9時集合  
(階段を下りてバス停に集合)

復 路：鎌ヶ谷大仏 14：54 15：04 15：14

コース：鎌ヶ谷大仏駅…京葉銀行…二重川(川べりを歩く)…県民の森(セブンイレブン前が出る)…アンデルセン公園北口ゲート…公園内散策…来た道に戻る

【歩程】：休憩時間含め5時間

概算費用：電車賃334円+入場料900円 \*65歳以上は証明書を提示により無料

\*64歳以下は前売券810円(セブンイレブン、ローソンで事前に購入)

その他：・昼食持参

・帰りエスケープとしてバスで三咲駅へ・13：14、50 14：02、14、33、50

担 当： (CL) 間瀬、(SL) 三橋・村上

### \*三浦富士(みうらふじ)(183m) ゆるい山(☆)

三浦富士～砲台山～武山のミニ縦走

日 時：1月19日(日) 雨天中止 中止の時1/17 pm 7：30メールにて連絡

集合；8：50 京急長沢駅

解散；14：00頃 津久井浜駅

日 程 ・ 交通

往 路：新鎌ヶ谷 6：23→6：35 船橋 6：47(快速逗子行) →7：20 品川 7：36(京浜急行  
特急三崎口行) →8：43 京急長沢駅

復 路：津久井浜駅発 14：01 14：13 14：21

コース：長沢駅・横須賀警察犬訓練所・三浦富士・砲台山・武山・津久井浜駅  
山の特徴（危険）：三浦富士は気軽に登れる低山 頂上からの眺めが良い  
コースタイム 4時間（昼食、休憩含む）  
交通費概算：3000円位  
昼食：1食  
担当：(CL) 石塚、(SL) 笹・岡部・山脇

## 2月の山行予定

### \*曾我丘陵ウォーキング 全会員対象（体☆）

天気の良い日には富士山や足柄平野が一望でき、田んぼや畑の広がった田園風景は気持ちが良い。1月下旬～3月上旬が梅の見ごろ。

日時：2月1日（土）雨天時 2月2日（日）に順延

集合（国府津駅・8:50） 解散（下曾我駅）

日程・交通

往路：新鎌ヶ谷6:31→6:43 船橋6:57（快速逗子行）→8:08 戸塚8:12（東海道本線小田原行）→8:48 国府津

復路：①下曾我駅15:05（御殿場線・国府津行）→15:11 国府津15:32（湘南新宿ライン・籠原行）→16:06 戸塚16:09（横須賀線一宮行）→17:21 船橋

②下曾我駅15:35→15:40 国府津15:45→16:21 戸塚16:32→17:39 船橋

コース：国府津駅…真楽寺…菅原神社…光明寺…西山農道休憩所…五国峠碑…上町隧道…一本松跡…六本松跡…伝曾我裕信宝篋印塔…城前寺…宗我神社…瑞雲寺…中川原梅林…梅の里センター…下曾我駅（解散）

※見学場所に神社等が多いが、下見の結果、見学する所を決定する。

【歩程】：歩行距離・約11.2km 歩行時間・約3時間

山の特徴：ほとんど舗装された道で、土道もほぼ平坦な道の為、危険な所はない。

装備等：2月初旬の為、雪道も予想されるのでウォーキング用の靴が良い。

交通費概算：約4000円

その他：昼食・1 ※下見12月18日（水）の予定

担当：(CL) 井上（勝）、(SL) 伏見・嶋本・山岡

### \*弓立山 ゆるい山・（体☆☆）

低山なのに大展望！ 関東平野が見渡せる。スカイツリーも見える。

越生梅林にも寄ります。越生梅林梅まつり開催中。

日時：2月27日（木）雨天中止

集合：（明覚駅・8:35） 解散：（越生駅）

日程・交通

往路：新鎌ヶ谷駅（新京成）6:20→6:32 八柱駅・新八柱駅（武蔵野線）6:38→7:25 北朝霞駅…徒歩4分7:29 朝霞台駅（東武東上線）7:34→8:03 坂戸駅（東武越生線）8:08→8:30 越生駅（JR八高線）8:32→8:38 明覚駅（集合）

2 時間 18 分

※他のルートで来る場合は連絡をください。

復 路：越生駅（東武越生線）→坂戸駅（東武東上線）→朝霞台駅…北朝霞駅（武蔵野線）  
→新八柱駅…八柱駅（新京成電鉄）→新鎌ヶ谷駅

越生駅 15:09→17:09 新鎌ヶ谷駅

越生駅 15:24→17:19 新鎌ヶ谷駅

越生駅 15:39→17:46 新鎌ヶ谷駅

コース：明覚駅 8:45…9:15 弓立山登山口 9:20…男鹿岩 10:00…10:10 弓立山 10:20…  
11:00 八幡山神社 11:10…11:50 越生梅林・昼食 12:20…13:40 大高取山 13:50…  
帯岩展望台…無名戦士墓 14:40…15:00 越生駅（解散）

【歩程】：歩行距離・約 15.6 km 歩行時間 ・約 5 時間 30 分

山の特徴（危険）：危険な所はない。

アドバイス（装備等）2 月下旬の為、雪道も予想されるので登山用の靴が良い。

交通費概算：約 4,000 円

担 当： 赤塚 柳 岡登

## 県 連 関 係 予 定 行 事

### ☆第 38 回 房総ハイキング JR 勝浦駅基点 募集

日にち 2025 年 1 月 25 日（土）

コース 勝浦の岬を歩く

歩行時間 5 時間 30 分（休憩含む）

※各会で行動

詳細は「ちばニュース 12 月号」を参照してください。

### ☆県連合同会議

3 月 1 日（土） 於）船橋市西部公民館（下総中山駅から徒歩 10 分）



# 令和6年度中央公民館ふれあいまつり

日時 2025年2月22日(土)～23日(日)

ふれあいまつりの写真の協力をお願いします。

委員長 上野 悦子 鎌ヶ谷 Trombone Family  
副委員長 加藤久美子 鎌ヶ谷ワイワイ音絵体クラブ  
ステージ 部会長 塩島典子 出展部会長 四元一成

## 東葛山の会関係のふれあいまつり準備

11月10日(日) 例会前 12:15～13:45 第1回会議 ロビー  
テーマ と写真の内容 展示・ビデオ放映  
12月8日(日) 例会前 12:15～13:45 第2回会議 ロビー  
写真の依頼状況の確認  
2025年1月12日(日) 例会前 12:15～13:45 第3回会議 ロビー  
写真の収集の確認 1月20日頃までに写真の収集を終る  
1月29日(水) 写真の印刷の状況確認 ロビー  
2月9日(日) 例会前 第4回会議 ロビー レイアウトの検討  
2月19日(水) 設営準備 学習室3 14:00～16:00  
写真を黒の半紙に貼ります 14枚作成 大勢の参加をお願いします。  
2月21日(金) 設営 9:00～10:00 2名  
10:00 各サークルの展示 6～7名 必要  
2月22日(土) ふれあいまつり・2月23日(日) ふれあいまつり  
場所は集会室 入口ビデオ機材 ケーブル 前回の使用  
展示パネル 7枚、両面で 14面 使用出来る

## 写真の依頼の担当者と表作成の担当者

写真を担当者が依頼したら・写真のメールの送信は、四元・笹とする(印刷担当)

1年間の山行の写真	4面	担当	村上・三橋
1年間のウォーキング	2面	担当	笹・吉留とも
外国・韓国	2面	担当	井上・石塚 四元
忘年山行	1面	担当	四元
年間山行表・東葛山の会紹介	2面	担当	四元
日本百名山	2面	担当	富田
やまびこ 1年間の写真	1面	担当	笹・吉留正
合計			14面

東葛山の会の葉・看板 担当 四元

写真の展示の黒半紙 : 両面テープ事務用品等 担当 四元

写真はA4の用紙の大きさが基本です。印刷 担当 四元・笹



## 韓国ハイキング

北漢山（ブッカサン）と冠岳山（クァナクサン）

日 時：10月18日（金）～22日（月）

参加者：安彦、猪狩、清水、羽鳥、江崎、井上勝、嶋本、石塚、桐生（記）他7名

久しぶりの海外旅行にワクワク・ドキドキ。成田空港で県連の仲間と合流。16名のメンバーとは3泊4日の山旅中、和気あいあいと夕食ではビールと韓国料理を楽しみました。

10/19（土）北漢山（ブッカサン）

朝食を済ませて8時30分にホテル前集合。日本語ガイドから山のガイド2名が紹介された。“エッ” ジーパンはいている！それに私達よりもザックが小さいな～（ちょっと心配）と思いながら迷子にならないように付いていく。

天気予報では曇りから徐々に晴れると聞いていたが、朝からお天気が良くてハイキング日和だ。

登山口は地下鉄の駅から歩いて行く。途中でランチ用に、韓国のり巻き『キンパッ』を皆で買う。安くて美味しそう。

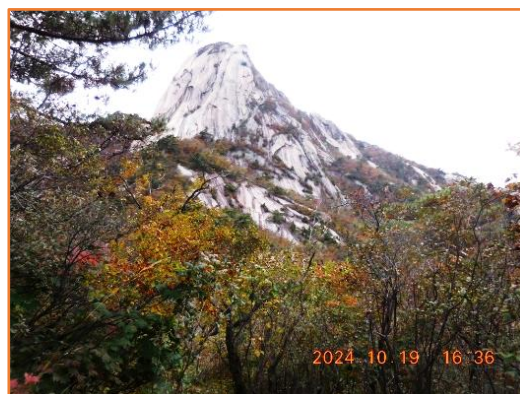
見上げると本日登る山『ブッカサン』が見える。すごく険しそうだ。836mだから筑波山のイメージで参加したので、ちょっと内心ビビる。

すぐにランナーが次々と走って下りてくる。トレールランの大会で日本人も30名ほど参加しているらしい。日本人の招待ランナーもいた。



登るにつれ登山道が紅葉に彩られて気持ちよく歩いていく。岩の大きな山が近づいてくると道は両側に手すりが付けられているが、足の下は絶壁で高度感は標高以上に感じる。頂上直下になると上りと下りに道が整備されているが、何しろ土曜日でお天気も良いので登山者が多く、記念写真を写すのに大渋滞だ。ドタバタ劇で何とか集合写真を撮って山頂を後にする。

下山は危ない所はないが、なかなか到着しない。日没にギリギリで街に着いた。そこから食事処までが遠かったが、美味しい料理と冷たいビールで疲れも吹き飛んだ。タクシー4台に分乗してホテルに帰ったが、ビックリするほどタクシー料金は安かった。



10/20（日）冠岳山（クァナクサン）

昨日より朝の気温は低く絶好なハイキング日和だ。昨日と同じ時間で集合し、地下鉄で登山口へ向かう。公園のような所でガイドのオリジナル体操？を皆で掛け声をかけてする。

日曜日とあって、『クァナクサン』も大勢のハイカーが来ている。ほとんどが若者、たまにオジサマはいたがオバサマは見かけない。どこが山頂か？今どこを歩いているのか？まったく分からない。これでもか、これでもかと階段が続いてお寺に着いた。山頂が近いらしい。ここでトイレを借りることになった。そのトイレの遠い事。石段を下りること、下りること、これを又上り返すのだ。見上げると切り立った断崖の岩の上に赤い建物が見える。山頂らしい。ここでも記念写真を写す列が連なっていた。

昨日も、今日も、山頂からも歩いている時も、ソウルの街が良く見えた。



下山になった。近道だからと岩稜の稜線を進む。鎖もロープもないので、緊張する。一カ所「怖いなあ〜」と立ち止まったら、韓国の青年がサッと手を伸ばしてくれた。ありがたくその手にすがって岩を渡った。

無事に下山した所はソウル大学前のバス停だった。バスを乗り継ぎ又地下鉄に乗った。Tカード（韓国のSuica）を購入していたのでスムーズに移動できた。

4日目は、ランチまでガイドの案内でソウルの街を駆け足で観光した。市内の高台の公園までの道のりは、韓流ドラマによくある小さな入口（ドア）が並んでいる住宅街。テレビで見るよりも観光化なのかそれぞれのドアが個性的に飾られてステキに見えた。

魅力的な市場では午前中だからか人は思っているより少なく、キョロキョロするばかりでお土産はなかなか買えなかった。久しぶりの異国にウキウキ・ワクワクの旅だった。

又、機会があれば韓国ハイキングに行きたいな。地図を見ると近いですね。

## 霧 降 高 原    ハ イ キ ン グ

10月31日

菅谷 江崎 安田 井上勝(記)

天気のご機嫌を伺っての計画とのことにて参加させていただく。

朝、東武日光駅に着きタクシーで「霧降高原」へ。車から降りたとたん、目の前の2本の上り口を、上り下りした記憶がよみがえる。

ところが、今回はここを起点に下りていくのだそうで、現地の人が、昨日あたりに下草刈りをしてくれたと思われる小道を、木々の先が少し枯れはじめてはいるが、紅葉を愛でながら踏む足音のみの静けさの中を進む。

途中「威辰道分岐」という歴史上大切な道(安田さんと菅谷さんが説明をしてくださった)を通り、道が開けて前に「大山」が見え、少しの上りを経て「大山」に到着。

「女峰山」「男体山」にかすかに“筋雲”がかかっている、「“低気圧”や“前線”が近づいていて、天気が悪くなる傾向」と菅谷さんの説明を聞く。

また近くに2頭の“ウラギンヒョウモン”という名(これも菅谷さんから教えていただく)のチョウチョウが鼓舞していて、ことに“雄”の羽はきれい。

ランチは聞いてはいたが、なんとも言えないおいしいコーヒーとスープ。辺りの山々を眺めながらの至福のひとつを過ごす。

下りにかかる。溪谷に入り小さな滝を気持ちよくハイクしながら、霧降の滝バス停までおりてバスで駅へ。

私には初めてのコースであったが、素晴らしい展望と木々の紅葉に感動し、芽吹きの際にも行きたいコースであるが、“蛭”がいるとのことにて、要注意であることを知った。



## 小菅山・高社山（こうしゃさん）

畑中眞澄

10月31日（木）～11月1日（金）

参加者 羽鳥、清水、石塚、山口、蓮見、畑中（眞）、他1名

8月の苗場山の計画が雨のため延期。二転三転どころか三転四転、幹事さんの今迄のご苦労に報いてくれたのか今回も雨予報でしたが直前に晴れ予報に！私は4月の圧迫骨折からあまり山に行けてなく体調面で心配でしたが、高社山を調べて木島平村営スキー場がある山だとわかり、『登る気充分』にわくわくしてきた。

20歳のころ行った木島平スキー場は民宿泊。生まれて初めて野沢菜の漬物に出会った衝撃のスキー場です。母が作る白菜、きゅうりの古漬け、ナスも好きでしたが、今でこそ手に入れやすい野沢菜ですが当時は名前も知りませんでした。懐かしいスキー場も村営から今は、外国企業の運営に変わったそうです。

一日目 ごんにむ荘のご主人が飯山駅までお迎え、羽鳥さんはじめ東葛山の会は信州トレイルなどでお世話になって馴染みだそうです。

国重要文化的景観の小菅部落の里社本殿にお詣りして小菅山へ進む。重文の奥社本殿、ブナの森から無事に北竜湖へ。宿のお迎えで、まずはすぐ近くの外湯へ。こんこんと湧き出るかけ流し、素晴らしいが超熱い(泣)薄め過ぎてしまい地元の方ごめんなさい。

今年は紅葉もいまいち、キノコも遅いらしく何とか地のなめこが間に合ってよかったと女将さんの弁。こころ尽くしのお料理に。

また良い宿を教えてくださいました

次の日の高社山へは膝、腰の調子が悪くて不参加、一人で村内見学。

童謡のおぼろ月夜は野沢村の野沢菜の黄色い菜の花をモデルと記念碑が。

外湯の見学でぬる湯もあり安心してつかることができました。

来春は高社山のイワウチワの花を見ながら登り、春の山菜をつまみに地酒を楽しむ夢が出来ました。勿論、飴色の野沢菜がメインで♥



## 11/1 (金) 高社山ハイキング

山口 洋子

谷巖寺まで宿の車で送ってもらいました。登山コース4本のうち、古くから登られている谷巖寺コースは不動明王から13の石仏などに見守られて歩く登山道です。途中の岩室には、願いを書いた兎人形の奉納場があり、地元の人々に親しまれている山であることが感じられます。山頂近くになると、大きめのつやつやした葉のオオイワウチワの群生が続きました。斜面の奥までずうっと広がっています。春先にはピンク色の山になることでしょう。

頂上で北信五山や檜ヶ岳を目におさめ、昼食を済ませたとき、小さな子たちが次々と山頂に上がってきました。幼稚園児と若い先生たちです。私たちは、子供たちが登ってきた夜間瀬コースを下りましたが、本当にこの道を登ってきたのか、そしてこのコースを下りるのかと思うと子供たちの健脚に驚愕するばかりです。子供たちのファイトに奮い立たされたのか、季節を変え、コースを変えてもう一度登りたいと思いました。ごんにむさんに泊り、美味しい食事と野沢温泉めぐり付きで。



宿ごんにむ荘のごちそう  
0269-85-2282



## 要害山 (536m 上野原)

日時：11月4日(月)

参加者：桐生、五十嵐、嶋本、菊池、伏見(記)

要害山の山名は調べますと関東には何カ所もありました。今年の2月28日、3月30日に青梅の要害山に行きました。青梅の要害山は里山だけにとっても複雑で2度に亘り行きました。

まず要害山の山名は『戦国時代は国境警備の砦。今は見張る山から見晴らしの山』へと変わっています。

要害山は上野原からバスにて20分位乗車しまして、尾続山バス停下車。登り始めるも静かな山です。5の山をアップダウンの繰り返しですが、とても展望抜群で最高です。

談合坂の真上に佇む富士山、その他2箇所富士山の展望所があります。厚化粧をした富士山を眺められれば素晴らしい展望の山ですね。

又、甲府にも要害山があります。今年中に登りたいと思っています。歩行時間5時間(休憩を含む)登り558m、下り568mでした。私には身の丈に合った山行でした。

☆ 尾続山バス停に文言が有りこの近辺に10,000株のイワタバコの群生があるそうです。お花の好きな方は出かけてみて下さいな。



## 山行報告 乾徳山 (2031m) 登頂

富永 好郎

【11/5 火曜日 晴れのち曇り 日帰り 歩行時間約5時間】

今年最後の登山（ハイキングを除く）は、頂上付近に大きな岩場を従える乾徳山を選びました。乾徳山は武田家の菩提寺“恵林寺”から乾の方向にあることから名付けられた謂れ。

同行者は登山浅歴ですが、来年一緒に北アルプス縦走を計画しているために岩稜歩きの経験を積む目的もありました。

晩秋で日も短く、又早めに下りて駅前食堂で反省会（飲み？）もしたく、大平高原からの最短コースを選びました。

9時40分登山開始、道満尾根を登りきると、気持ちの良いカヤト原を横切り月見岩、扇平からヘルメットを被り、髭剃岩・カミナリ岩を通過すると、山頂直下20mの鳳岩に取り付く。

登り始めは足場に乏しく、鎖・出っ張り・クラックを使って三点保持で慎重に、中間テラスからは難なく山頂の祠に到着する。山頂からは、薄曇りながら富士山（冠雪していない）、秩父・八ヶ岳の峰々が望めた。

下山は、下山道を使い、国師ヶ原から徳和集落のバス停まで14時50分に到着して、丁度バスの連絡が良く、無事塩山駅で反省会を行いました。



カヤト原から望む乾徳山



剃刀岩



山頂直下 鳳岩



乾徳山山頂 2031m

## 御前山（ごぜんやま）1405m

日程：11月8日（金）

参加者：安田・菅谷・江崎（記）・他1名

行程：都民の森 9:40・・・風張峠 10:20・・・月夜見山駐車場 11:30・12:00  
・・・惣岳山 14:00・・・御前山 14:30・15:00・・・境橋バス停 17:00

秋晴れの気持ちの良い一日となりそうなので、山に向かう事になりました。鎌ヶ谷を5:31に出発。船橋-お茶の水-立川-拝島-五日市と乗り換えながら、バスで都民の森へ向かう。平日というのにバスは満員。

都民の森からは9割以上の方が三頭山に登るようです。私達は鞆口峠から東の方向、風張峠に向かう、ゆるい登りでも息ハアハア。風張峠から月夜見山へと続く稜線と平行する奥多摩周遊道路を歩いた。ちょっと楽かな～。

月夜見第2駐車場で昼食。ゆっくりランチを楽しまず早々に出発。小河内峠 1050mゆるい下りではあるがかなり下るので、御前山の登りは大変だろうな～。

右側が切れ落ちている危険マークの付いているルートに登って行く。惣岳山のピークまで来ると御前山は目の前、山頂までもう少し。御前山の山頂着 14:30 長かった！ほっとして頂いた栗羊羹を皆で食べて美味しかった 😊

15:00 下山開始。バス停の境橋まで延々と下る。16:30 栃寄森の家（宿泊施設）民家は2～3件。ここから更に下る。辺りは暗くなり境橋バス停 17:00 着。

三日月を眺めながらバスを待った。久しぶりの7時間半の長いコース、疲れました。



御前山頂にて栗羊羹でカンパイ！！  
カメラマンは菅谷さん



## 大楠山ウォーキングに参加して

富田信恵

今回、大楠山パンフレットによると、5 コースあるモデルコースのなかで、前田橋コース（難易度 3 段階中の 2、所要時間 70 分）を総勢 13 名で歩きました。

前田川は、大楠山のきれいな沢の水や湧き水などが集まってできた清流で、自然環境が残された数少ない河川のひとつです。まるで山奥の大自然にいるような非日常が味わえるとのことで、最初は、その前田川遊歩道という川沿いを歩くコースから始まりました。川中におかれた踏み石を進んだり、木で作られた橋を通ったり、ちょっとしたアスレチックコースのようで楽しかったです。その間 20 分ほどでしょうか？遊歩道が終わると一度アスファルト道に出て、休憩。いよいよ段々を登るような細い山道を、列になりもくもくと進みました。意外と傾斜があり、比較的細目の山道のため、休憩もそこそこ進むしかなく、一同、疲れたかなと思ったところで、大楠平に到着しました。この付近には、国土交通省の大楠山レーダ雨量観測所があります。2 階建て相当の観測所があり、そこからは富士山もうっすらと見えました。また、江の島や油壺なども確認することができました。

さあ、観測所を降りると、三浦半島最高峰の大楠山山頂はすぐです。最後に急な階段を上り、到着。休憩できる広場が広がり、楽しいランチタイムとなりました。

当会に参加して、1 年経ちますが、仕事の都合と荒天による中止で 3 回ほど参加できず、ようやく 3 回目の参加となりました。自然に触れるだけでなく、ランチタイムの談笑やお手製の美味しいお漬物、珍しいお菓子などを交換したりして、大人の遠足時間さながらとても良い気分転換になりました。

**\*大楠山（おおぐすやま、△241m）ウォーキング ゆるい山（全会員対象）**

（体☆）日時：11 月 9 日（土）JR 逗子駅 8：40 集合 雨天中止

※ 16 日の下見の結果、山行案内の内容を変更しました。

変更点：往きのバスの時間：逗子駅発 9：05 に（トイレタイムを多く）

コース：短く変更（計画通りにとても歩けそうにもないので）

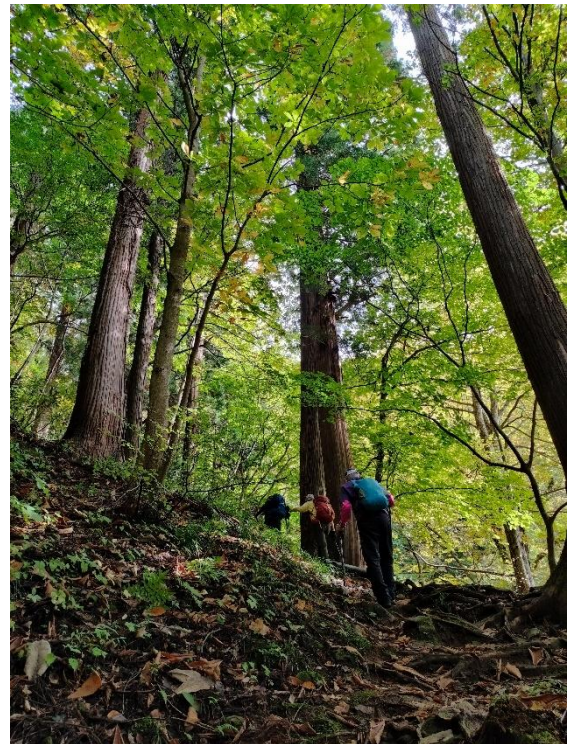
前田橋登山口 9：30…11：30 大楠山（昼食）12：20…13：50 頃大楠山登山口  
バス停 14：05、14：33 のバスで逗子駅へ 費用：帰りのバス代が 580 円増えました。⇒4080 円

担当：(CL) 手塚、(SL) 松本・山脇・前田延

こすげやま 小菅山～野沢🔥～高杜山 こうしゃさん を振り返って

羽鳥健一郎

苔むした小菅神社の里宮の石段のぼり無事を祈りぬ  
奥社へ続く参道に歩を止めて見返り仰ぐ妙高山を  
小菅村リュック背負いたる我ら見て「下りは滑る」と里人の言う  
参道の秋の陽あたる札所には沢庵漬けの大根下がる  
人けなき小菅山への杉並木シニア七人神域に入る  
清水きよみずの舞台かけづくの様な懸造り小菅神社の奥社は鎮座す  
「小菅山を愛する会」の立て札がひっそりと山頂に立てり  
山頂のブナに囲まれ腰おろし小菅山の昼餉賑やか  
里人の「下りは滑る」アドバイス思い出しつつ小菅山こすげを下る  
北竜湖めざして下る山道は思いのほかに緊張続く



久々の野沢温泉「まつばの湯」熱くてしばし足入れられず  
なめこ鍋、野沢菜漬けに馬刺しまで旬の夕餉に地酒の進む



こくごんじ  
 谷厳寺の不動明王を脇に見て高社山へと紅葉の道  
 高社山、たかやしろ山、高井富士よび名変われど信仰の山  
 彼方には北信五岳が聳えたる高社山頂の昼餉にぎやか  
 園児らが二十余人も登り来て紅葉の高社山「ヤッホー」響く  
 紅葉の夜間瀬コースをジグザクに降りた先には民宿の 主が



## 思い出の山「千枚岳～悪沢岳～赤石岳縦走」 一百名山達成

羽鳥健一郎

- ◆日時：2017年9月7日～10日 山小屋三泊 ◆天気：4日間とも晴れ
- ◆参加者：鈴木かつ子、羽鳥健一郎 他5名 （「アルプスエンタープライズ」主催）
- ◆日程：3泊4日
- 第1日目 東京—静岡—畑薙—樫島ロッジ（泊）
- 第2日目 樫島—千枚小屋（泊）
- 第3日目 千枚小屋—千枚岳（2880m）—**悪沢岳**（3141m）—中岳（3083m）—前岳（3068m）—小赤石岳（3081m）—**赤石岳**（3120m）往復—富士見平—赤石小屋（泊）
- 第4日目 赤石小屋—大倉尾根—樫島ロッジ—畑薙—白樺荘（♾）—静岡駅

「あと何処の山が残っています？」「今年中に終えたいね・・・」

7月の黒部五郎岳で一緒だった今は亡き鈴木かつ子さんと百名山のカウントダウンの話で盛り上がったことが懐かしく思い出されます。

当時、私は6月に本白根山、7月に黒部五郎岳を終えて残るは悪沢岳と赤石岳。一方、かつ子さんは黒部五郎岳の後、8月には槍ヶ岳、鷲羽岳、水晶岳を終え、同じ南アルプスの二座が残っていました。

日程は苦勞しました。静岡駅から畑薙行きのバスが8月末で終了。タクシー利用の個人山行はあきらめ、唯一残っていたツアーでの山行となりました。

《亡き山友への挽歌》

百座目の赤石岳を登りしは七年前よ 山友が逝く  
故郷の宝篋山や小町山こよなく登りし山友は逝きたり  
花を愛で数多の山に登りしや桜の開花待たずに山友は



2025年1月号は井上勝代さん、2月号は山脇さんです。前月の20日を目安に加藤までお願いします。

小休止のまま踏み跡消えし雪の谷  
文法の教師脱線恋歌留多  
千年を恋に恋せし歌かるた  
春うごく蜂蜜色に夜の野火  
駅伝や号砲を待つ息白し  
初商い一葉さらと懸想文  
新婚の妹弾む歌留多取り  
雪の小屋並列電池となりて寝る  
透けて喰われ海を養う稚魚の春  
雪の谷舐めて遭難探すへり  
花辛夷旧家に曾祖父の借用書  
気まずさを手品でかわすヒヤシンス  
単線の一両酔うて花盛り  
椿落つ魔球のように激流へ  
二輪草ダム放水の風に揺れ  
藪漕ぎやシャツにまんさく花匂う  
停電のテラスに星のものがたり  
腰太き土偶ま向かう雲の峰  
火葬せし犬の骨片リラの花  
リラ冷えをかげのみ動く犬は逝き  
夜のみどり少子化という行止まり  
地球から囀りとどくソロキャンプ  
借りしザイル遺品となりて梅雨の山  
逝きしものの足音来たる星合せ  
山の日や雪溪繋ぐ空の青  
たなばたの保険勧誘二才児に  
暗誦の夏の口紅「たけくらべ」  
TOB硝子のビルに遠き雷  
色鳥来双子の帽子色違い  
千回登山終え秋嶺を地に返す  
炎昼の壁にひとりの甲子園  
色鳥や稔り悦ぶ火焰土器  
ポスターの熊は笑わぬ登山口  
沙漠の月地球をずれる祖国愛  
連結の揺れに遅れて秋意来る

(五十年の岳友)

(TOB = 敵対的企業買収)

不慮の死や妃の名負う冬の薔薇  
月光へ身を聳てる鹿島槍ヶ岳  
遠き国の硬貨を磨く小春かな  
秋の航戦争遺構は水底に  
毒キノコ蹴っていつもの決め科白  
小春空点滴仲間に萆火を借りる

### 山行の俳句

指で掘る山の名霜の方位盤  
昼の星冬芽はいつも空を見る  
枇杷の花泣けば笑える夜の孤独  
樹氷林大いなる夜を荒ぶれり  
なだれ事故なまり届かぬ翻訳機  
花きぶし訛りも香る山おんな  
青梅雨にひそかな浮力大吊り橋  
風を嗅ぐ熊の短足なだれ跡

ぶな<sup>わかば</sup>嫩葉深みは夢を<sup>かづ</sup>潜くよう

墜落はバンザイに似る滝遊び  
存分に鳴きし蝉落つ夜の地球

むかご飯藩主の<sup>すえ</sup>裔は一人っ子

絶望をそろりと降りて毒茸  
沼二つ紅葉の山に誰かいる



ちょっと一言

どこにつけますか？

山口 洋子

熊野北山村の筏師の道を旅しました。

宿の近くに、日本最古の神社といわれている花の窟（いわや）神社があります。巨大な岩肌に神様の顔をつけたような窟が大空の下に立ちすくんでいます。

宿のホテルのホールにも、花の窟の大きなポスターが貼ってありました。宿は送迎付きなので、翌朝は花の窟まで送ってもらえるようお願いしました。夕食も美味しく、豪華で驚きました。生ビールもみんなで美味しくいただきました。

翌朝、ロビーで宿泊代を清算。

ホテルマンが、「どこにつけますか？」と。

（え～？昨日のうちに、朝8時に名勝花の窟に送ってもらえることでお願い済みなのに！）私は間違えがないように、ホテルの守り神のような威厳でこちらを見ているポスターの花の窟を指さした。

ホテルマン「え～？花の窟にですか？」

私「はい、花の窟をお願いします」

あまりの怪訝そうなホテルマンの所作に、

（あれえ～車の着け場所でなかったあ！）

（ビール代を誰に付けるかだったのかあ！）

花の窟さん、私はあなたにビール代を付けてしまうところでした。

あなたもさぞや驚いたことでしょうね。

こんな勘違いを時々しながら生活している今日この頃です。

1月号の担当は蓮見さんと菅原さんです。

（12月20日をメドに柳 嗣穂宛て原稿をメールにて送付お願いします。）

（ヤナギ ツギホ norinatsu1130@gmail.com）

## 編集後記

自転車を9年振りに買い替えた。普通のママチャリだが市内の移動には快適、電動パワーアシストは不要。この地域なら坂道もこれで十分、むしろ筋力低下の予防に役立つのだ。例会や近所の用足しに雨さえ降っていなければ便利この上ない。しかし街の道路事情が自転車に不向きにできている、これを何とかしてほしいものだ。特に夜間は、狭く段差の多い歩車兼用の道はチャリンコ乗りにとっては極めて危険だ。ヘルメットが必須となりつつあるがまだゲットしていない。バイクを卒業してメットなしの開放的なチャリをもう少し楽しみたいからだ。思い起こせば15年ほど前、勤め先の東京までの途中、鎌ヶ谷一本八幡間往復15Kmのチャリ通勤をしていた。7-8年続けたその「貯筋」はとっくになくなっているが、今でもママチャリの恩恵を山歩きの体力に活かしたいと思っている。

たかし



### 原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月20日までをお願いします。

<担当>山岡、桐生

**連名でお願いします**

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日 令和6年12月1日

発行者 東葛山の会

会長 安彦 秀夫

編集 会報部